

ともに学び、ともに歩む

EPA（インドネシア介護福祉士候補者） 受け入れの取り組み



社会福祉法人 晋栄福祉会 宝塚ちどり
発表者：森本 誠 有田 佳代

晋栄福社会 法人理念

- 情熱をもち行動する
- 前進と振り返り、時に回り道もある
- あらゆる工夫で、いろいろな方法で
- よくコミュニケーションをとり連携する
- すべては地域に住む人々と
- 自らの幸福と福祉のために



DO FOR OTHERS

晋栄福祉会 施設一覧 【高齢部門】



ナーシングホーム智鳥



宝塚ちどり



中山ちどり



大和田ちどり



第4地域包括支援センター



くすのき介護センター



大阪市鶴見区西部
地域包括支援センター



茨田大宮地域在宅
サービスステーションちどり



サンハウスときわ



高山ちどり



萩の台ちどり

- ◆大阪府門真市、兵庫県宝塚市、大阪市内、奈良県生駒市に施設があり、高齢者向けの福祉サービスを提供しています



智鳥保育園
(大阪府門真市)



東野田ちどり保育園
(大阪市都島区)



城東ちどり保育園
(大阪市城東区)



大阪市立東中本保育所
(大阪市東成区)



いちぶちどり保育園
(奈良県生駒市)



大阪市立北恩加島保育所
(大阪市大正区)

- ◆ 休日保育、一時保育、病後児保育、放課後児童クラブなど地域のニーズに応じた保育サービスを提供しています

受け入れ施設



- ◆ 宝塚ちどり
兵庫県宝塚市亀井町
- 2005年（平成17年）開設
- 個室・ユニット型
特別養護老人ホーム
（100名）
- グループホーム（18名）
- ショートステイ（20名）
- 居宅介護支援
- デイサービス（定員30名）

受け入れ状況

- 2014年5月現在、6名の介護福祉士（候補生）が勤務

平成21年度 インドネシア人 2名

平成22年度 インドネシア人 2名

平成25年度 インドネシア人 2名

※すべて女性

- 2013年、1期生2名は介護福祉士の資格取得



EPA 受け入れにあたって

1. 受け入れの理由

- 将来の介護職の人材を確保、育成するため
- 国際貢献



2. 受け入れの準備

- 施設の近くに住居を確保
- 生活に必要な家電製品・布団・家具など基本的なものは施設職員が準備
- インターネット環境も用意
- ご入居者のご家族には、家族会で説明
- 勉強・生活全般のことを気軽に相談できる担当者を選定

EPA 職場環境の整備

1. 職員に対して異文化理解のため、
ワークショップを開催

2. ユニットへの配属

- ・ 入職時は同じユニットに配属
- ・ 2年目以降に配属ユニットを変更
- ・ いつでも相談できる環境づくり
- ・ 施設内研修やユニット会議への参加

3. 介護技術の習得

- ・ 新人研修への参加
- ・ マンツーマンでの実技指導
- ・ 初任者研修（ヘルパー2級）の受講



施設での様子

本場インドネシア料理が
施設食で登場



納涼祭のインドネシア屋台は
毎年、大人気



利用者さんと
一緒に花火大会



EPA 地域のサポート

- 語学ボランティア
インドネシア文化や語学に精通した
ボランティアが定期的に日本語を指導



- 地元警察署の定期的な面会

日本での生活に慣れたか、悩みごとはないかなど定期的にヒアリング

- 地域の人との交流
一緒に食事したり、
洋服を寄付していただく



日本語教育と国家試験に向けて

- 国際厚生事業団からのスケジュール教材を中心に利用
- 3年間で介護福祉士の国家試験に対応できる学力をつける

具体的には…

週平均6時間、
施設で学習しました

- 国際厚生事業団が配布している教材、小学生向けの国語・漢字ドリルを使用
- 学習指導は、日本語教育の専門講師、ボランティア、施設の職員が担当
- 宿題・課題で自主学習を習慣づける

日本語教育と国家試験に向けて

◆ 日本語能力試験を受験

日本語能力試験検定

N3 → 4名 全員合格 (2012年7月)

N2 → 3名中1名合格 (2013年7月)



国家試験に向けて

- 模擬試験の受講
集中力を持ち、時間配分ができるようにし、
本番で実力を発揮できるように実践を積む
- 国家試験の過去問題を解く
得意分野と苦手分野を自覚し、
得点アップにつなげる
- 介護技術講座の受講
候補者の自信につなげる



生活・精神面のサポート

◆ 精神的なフォロー

- ・ 行事や研修旅行でご利用者・職員同士の交流を図る
- ・ リフレッシュのため、インドネシアへ帰国
- ・ モチベーションの持続
就労と学習のバランス



◆ 健康管理

- ・ 診療所や歯科受診の同行

施設職員の意識変化

➤ 受け入れ前と受け入れ後の 施設職員の意識変化



- 職場の雰囲気明るくなった
- インドネシア人の介護に取り組む
前向きな姿勢に、日本人職員も見習う点
があり、ケアの質の向上につながった
- 大切なことは誰にでもよくわかる言葉で
伝えるようになった

インドネシア人 介護福祉士の発表

ご利用者と 信頼関係を築くまで

社会福祉法人 晋栄福祉会 宝塚ちどり
ルキナール・シナガ
ジュリヤティ



はじめに

- ▶ 私たちはインドネシアから来日した当初、さまざまな壁にぶつかりました

国籍
文化の違い

日本語
コミュニケーション
能力

介護技術
知識

ルキナールの事例

A様 79歳女性
軽度の認知症 要介護度4

- ◆ 学んだこと
 - ・ 認知症の理解
 - ・ 距離感を意識した対応
 - ・ なじみの関係作り

ジュリヤティの事例

B様 69歳女性
認知症なし 要介護度3

- ◆ 学んだこと
- コミュニケーション力
- 介護技術
- 一生懸命取り組む姿勢

➤事例から学んだこと

どんな場面でも、
前向きにチャレンジ！

- 日本で働き続けるために**必要**なこと
周りのスタッフからのサポート
コミュニケーション能力の向上
介護技術・知識を身につけること

Thank you for listening !



社会福祉法人 晋栄福社会 宝塚ちどり